

令和4年5月25日

令和4年度 琉球大学研究技術研修助成プログラム募集要項

1. 目的

本研究技術研修助成プログラムは、本学のコアファシリティ化を推進する上で必要な技術職員の技能・能力の獲得・向上を支援することを目的とする。

2. 支援対象者

本学に在籍し、研究教育支援業務に従事する技術職員。

3. 支援内容

全学共用化されている機器・設備、並びに令和4年度中の共用化を予定している機器・設備に関する技術研修に必要な費用（研修参加費、並びに旅費）の全額、ないしは一部。本年度内に実施される研修を対象とする。

※研修参加費の例）企業が主催する研究機器の操作講習会等。

4. 支援件数・支援額

募集件数：年間7件程度。

支援額：上限20万円、総額100万円程度を予定。

5. 申請期間

令和4年6月1日から令和4年12月31日まで（ただし事業経費がなくなり次第終了）。

※申請は随時受け付けるが、研修実施日時の2か月前までの申請が望ましい（申請受付から審査・決定までに時間かかる場合があります）。

6. 申請方法

所属長（部局長等）の承諾を得た上で、申請書（別途様式1）をコアファシリティ事業事務局に指定した件名を記載し、メールで提出すること。

【申請】令和4年度琉球大学研究技術研修助成プログラム

【メールアドレス：core@acs.u-ryukyu.ac.jp】

7. 審査基準

以下の点に着目し、コアファシリティ事業推進委員会が書面審査により選考する。

- ・ 本学技術職員として必要な技術の獲得・向上につながるものか。
- ・ 全学共用機器・設備の円滑な運用に寄与するものか。
- ・ 研修先の受入れ体制が適切であるか。
- ・ 必要経費の妥当性。

- ・ コアファシリティ事業での支出の適格性。

8. 審査結果の公表

審査結果は本人に通知するとともに、その概要（氏名、研修名、配分額）を、ホームページ等で公表する。

9. 実施報告等

研修後 1 か月以内に報告書(別途様式 2)をコアファシリティ事務局に提出すること。

年度内に実施予定の研修に関する報告会に参加・発表すること（公開開催）。

実施報告書は、ホームページ等で公表する。

以上